

市政を問う

一般質問



上田 倫久議員

防犯・発達障害

支援対策について

防犯カメラの設置

問 交通量の多い五荘小
学校・豊岡北中学校の通
学路（下陰・福田地区）
に設置できないか

答 防犯カメラの目的は、
故意に行われる犯罪を未
然に防止することである。
交通事故は故意ではなく
過失であり防犯カメラの
適用は実例としてない。交
通安全については、別の
観点から啓発に努めてい
く。

発達障害への支援対策

問 乳幼児期、児童・生
徒期、成人・青年期の支
援状況はどうか

答 北但広域療育センタ
ーでは、指定管理者であ
る神戸聖隷福祉事業団が、
ひようご発達障害者支援
センター・クローバーの
豊岡プラランチとして県か

おり、高校においても就
労・進学に活用されるよ
う協議を進める。職場定
着のための支援として、
兵庫障害者職業センター
がハローワークからの依
頼により障害特性を踏ま
えた専門的な支援を行う
職場適応援助者（ジョブ
コーチ）を事業所へ派遣
している。

SOSネットワーク事業

問 現在、2986人の
方が認知症と診断されて
いる。認知症などにより
行方不明になる心配のあ
る認知症高齢者の登録状
況はどうか

答 現在、登録者数は6
名であり、働きかけをし
て登録者数を増やしてい
く。



五荘小・豊岡北中学校の通学路（下陰・福田地区）



福田 嗣久議員

喫緊の課題

空き家、廃屋対策



早急な対応が望まれる特定空き家

特定空き家の対策

問 空き家、倒壊空き家
の実態把握はどのように
進んでいるのか

答 昨年度アンケート調
査を実施、報告のあった
空き家178戸を現地確
認した。早急な対応が必
要と思われる空き家は12
戸、このまま放置すれば
将来危険な空き家となる

おそれがあるものが30
戸あり、区
長に会い調
査報告と今
後の進め方
について協
議したい。
倒壊空き家
の調査は行
っていない。
問 特定空
き家の指定
については
どうか

答 放置す
れば著しく保安上危険と
なる、または衛生上有害
となるおそれのある状態、
また景観を損なっている
状態、周辺の生活環境の
保全を図るために放置す
ることが不適切である状
態にあると認められる空
き家等を特定空き家とす
る。
問 特別措置法の目的を
展開する具体的手順はど
うか

答 固定資産税課税対象
となる家屋は外気分断性、
土地への定着性、住居等
の用途性を有しているこ
ととされ、倒壊した家屋
は課税対象とならない。
その場合の土地は住宅用
地に対する課税標準の特
例は適用されない。除去
に対する支援策は今後の
課題とし現在検討してい
るところである。

市政を問う



井垣 文博議員

地域医療

問 在宅医療を充実するためには、訪問看護ステーションがない地域での整備が必要だがどうか

答 竹野地域において訪問看護ステーションが隣にない。民間事業者のサテライトを設置していただき、それに対し市が支援をすることを事業者と調整する。

問 通院時の負担軽減のため、乗り合いの通院タクシーの制度を検討すべ

答 避難所運営等について、自主防災組織の活動が必要であると考えさせられた。改めて検証し防災計画に役立てたい。



竹野地域にも訪問看護ステーションを

2025年に向けて 更なる地域医療充実を

きと思うがどうか

答 現行支援策の対象外となる高齢者の通院の利便性確保は大きな課題である。効果的な方策を研究する。

熊本地震の検証

問 豊岡市の今後の地震対策にどう生かそうと考えているか

答 避難所運営等について、自主防災組織の活動が必要であると考えさせられた。改めて検証し防災計画に役立てたい。

美しい景観の発見

問 市内の風景映像「ふるさとスケッチ」が完成した。どう活用するのか

答 国内外へのプロモーション活動に活用し、豊岡の魅力を発信していく。

問 ジャジャ山公園から見る竹野浜地区の景観は素晴らしい。この公園を再整備し活用を図るべきと思うがどうか

答 枝を伐採し眺望を確保したい。安心して散策できる公園となるようトイレや柵などの適正な維持管理に努める。



竹中 理議員

治水対策について

問 梶原地区市道から312号線間の水路整備の要望の進捗状況は

答 上流190mが未整備。官民境界の食い違いで中断している。内水対策検討会で総合的に検討している。

問 公共下水道事業の未完成分である西芝樋門から日高中央浄化センター付近の設置計画のあった雨水排水ポンプと公共下水道ポンプ17・4トンはなぜ遅れているのか

答 多大な事業費の問題もあり、実施のめどが立っていない。

地方創生について

問 若者夫婦が豊岡に帰って来るとき親との同居又は近居を選択したとき市から報奨金や奨励金を補助しては

答 現在有効性について

希望がゆきわたる 豊岡市に！

検討を続けている。意識調査でも多子出産の面で3世代同居や近居が有効であり、この地域では同居・近居が大きな役割を果たしている。

問 豊岡市独自で靴縫製技術の認定制度や教育制度を確立し、資格を作るなど工夫すれば若者の就労意欲、豊岡への愛着が深まるのではないかと

答 靴協会も実際にブランド力強化のため、議員ご指摘の技術認定の導入が必要だと考えている。業界のリードが重要なので積極的な制度設計をする時に一緒に検討したい。



梶原水路

西芝樋門

整備が待たれる梶原水路と西芝樋門

豊岡DMOについて

問 着地型観光の具体的な取組みは

答 現在各地域を訪問し、関係団体と地域の観光資源の洗い出しと整理をしている。実際にツアーを造成し、ネットや城崎温泉インフォメーションカウンターS.O.Z.O.R.Oなどで販売する。現在、旅行業免許を8月取得予定。